出雲市

全国学力・学習状況調査からわかる出雲市の児童生徒の強みと課題

強み：「授業がわかる」、「授業が好き」、「学校が楽しい」と回答する児童生徒が多い。
学力調査の正答率は全国と同程度、基礎的な知識・技能が定着している。

課題：「必要な情報を見付けること」、「自分の考えをもつこと」、「言葉や数、式を用いて書くこと」、「上位層が全国より少ない」、「無回答率が高い」等に課題がある。

出雲市が目指す子どもの姿

い つも学びを楽しみ　ず っと学び続け　も っと学びを生かす　＋1（プラス）する　出雲の子ども

「授業改善」を「組織的に」進めるための2つの取組

1　めあてと振り返りを意識した「授業スタンダード」

取組の重点　単元や授業を構想する時の手順を「構想シート」にまとめる

「①ねらい(目標)」、「②まとめ」、「③課題」、「④課題追究の学習活動」「⑤振り返り」、「⑥めあて」の6つのカテゴリーを順に考える。

2　授業における「PDCAフロー図」

【事前研究(P)】→【指導案作成(P)】→【研究授業(D)】→【研究協議(C)】→【ゴール到達のための支援(A)】

取組の重点　【事前研究(P)】と【研究協議(C)】の改善に取り組む

【事前研究(P)】　ねらい(目標)からゴールの具体的な姿を明確にし、そのための手立てを話し合う。ねらい(目標)を達成するために、ゴールから授業を構想する。

【研究協議(C)】　研究協議において「目標が達成できたかどうか」という視点で話し合う。その判断理由や根拠について話し合い、ゴール到達に至る効果的な手立てや改善点について話し合う。

→　1,2を活用した「授業改善」の取組が「組織的に」進むよう、教育指導員による学力向上訪問・授業研究を年間を通じて行う。

1人1台端末の活用による授業
-出雲市立第一中学校-

子どもの声をつなぐ授業
-出雲市立大津小学校-

出雲市学力向上推進プランの詳細はコチラ↑

3年間の取組と成果

1「授業スタンダード」、「PDCAフロー図」の活用が着実に浸透している。
2　多くの子どもたちが、先生に分かるまで教えてもらっている、授業の内容が分かると感じている。
3　主体的・協働的に学習に取り組む態度が育っている。